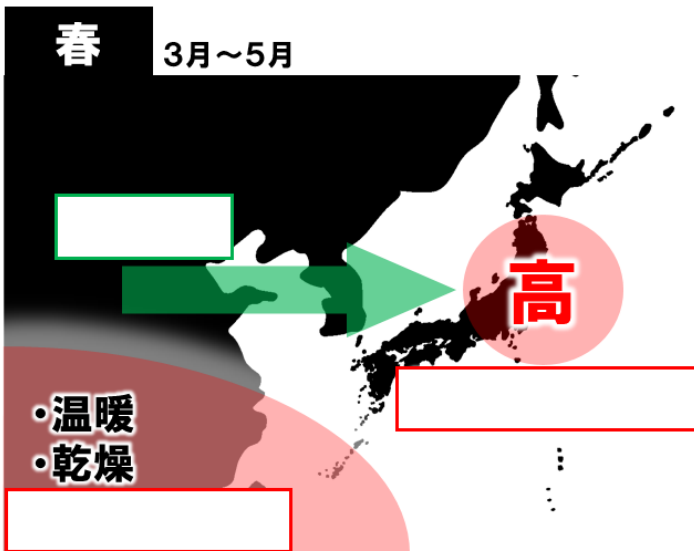
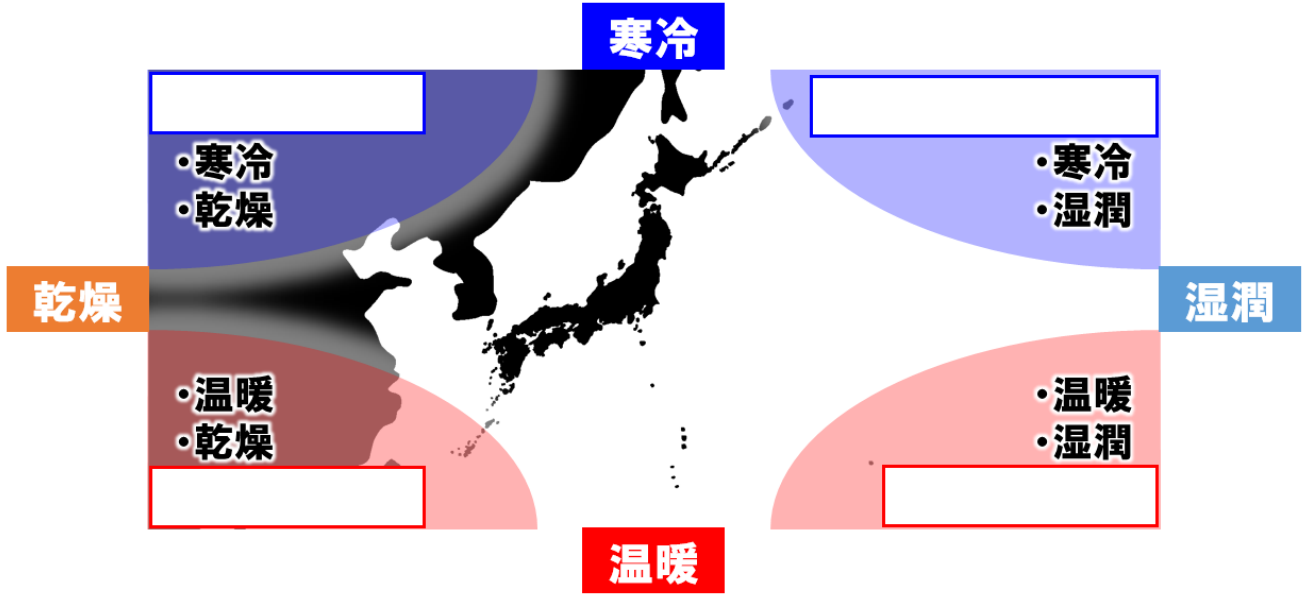


「気団と日本の天気」

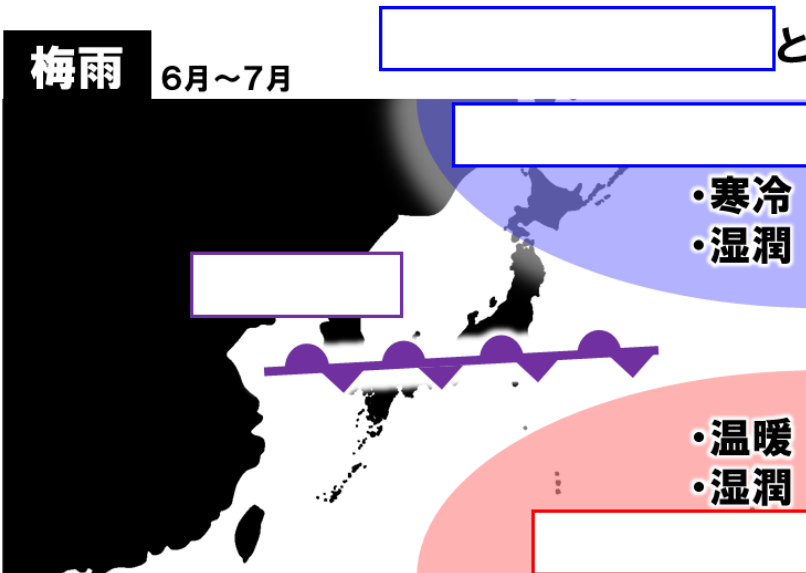
気団 性質が一様な空気のかたまり。



が発達する。

に乗って
が
日本にやってくる。

高気圧におおわれているときは晴れ、高気圧が通り過ぎると低気圧になるので、天気が悪くなる。



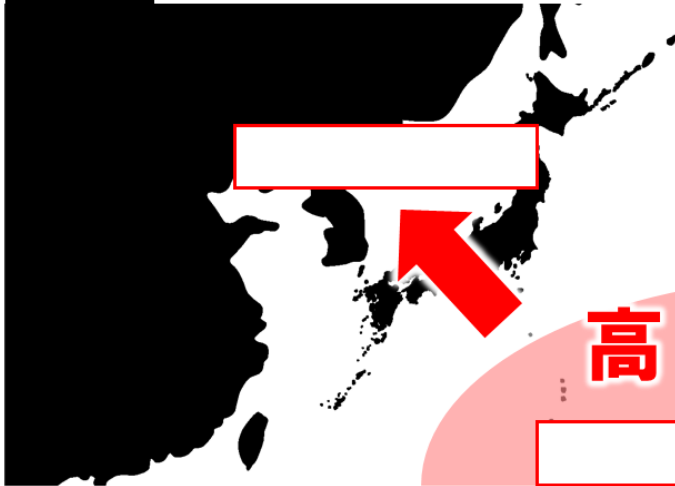
とが発達する。

オホーツク海気団 (寒気) と **小笠原気団** (暖気) が日本上空でぶつかり合い
ができる

この時期にできる停滞前線を
という。

夏

7月～9月



が発達する。

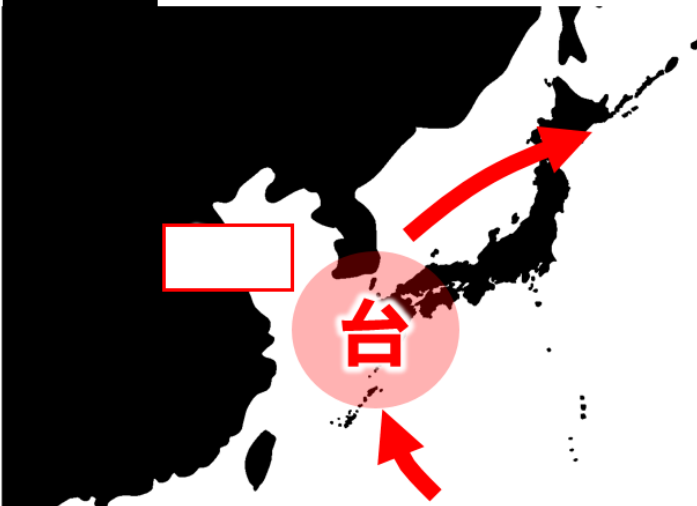
南東の海上から高気圧
がはり出してくる。

のが
吹き高温になる。

この時期の気圧配置を
「」という。

秋

9月～11月



が日本にやってくる。

南の海上でできた
が発達し、
台風として襲来する。

移動性高気圧や
停滞前線
も秋の天気の特徴。

冬

12月～3月



が発達する。

大陸に発達した高気圧
ができ の
が吹く。
等圧線が縦に並び風が
強い。

この時期の気圧配置を「」という。